

会 議 録

会議の名称		令和３年度 第１回石岡市協働のまちづくり推進委員会
開催日時		令和３年９月２９日（水）午後２時～３時３０分
開催場所		石岡市役所本庁舎 ２階 ２０１ 会議室
事務局（担当課）		生活環境部 コミュニティ推進課
出席者	委員	植竹智央さん，茨木泰貴さん，長谷川和江さん，西牧千広さん，高橋照雄さん，木村進さん（６名）
	事務局	関課長，山田課長補佐，高橋
会議次第		- 開会 - 副委員長あいさつ - 議題 - 昨年度の振り返り・ コミュニティに関するアンケート結果紹介 - 令和３年度協働のまちづくり推進事業の進捗報告 - これまでの協働のまちづくり推進委員会での審議内容に対する意見（今後の運営の参考に）

審議経過

(1) 昨年度の振り返り・地域コミュニティに関するアンケート結果紹介

●活動の担い手や、活動の拠点・資金・ノウハウに関する課題について

(委員から出された意見)

- ・区の運営に関する話し合いの場では、なかなか意見が出てこない
- ・役員の後継もなかなか見つけれられない
- ・区未加入者への対応には苦慮している。
- ・地域では助け合いをやっているが、住民はコミュニティ意識が希薄。
- ・コロナのために、ボランティア団体は1年半、活動ができていない。自分の所属している団体も高齢化していて不安感が強い。ボランティア連絡協議会に入っていないボランティア団体も多数あり、団体間の連携が困難。
- ・高齢の両親が老人ホームに入り、その息子が独身でひとり暮らしだと、仕事があり地域の付き合いができないからと地区から抜けてしまうことがある。
- ・自分の暮らす地区の加入世帯は、この15年間でだいぶ減った。地区の仕事は、市報配布や神社のお札配り、募金など。市報配布は市にやらしてもらえばいいんじゃないかと思う。自分の所属している団体は毎月会報を出しているが、継続が困難。
- ・区の役員の年齢が高齢化しているとあったが、子育て中に地域に関わることは困難。60代、70代がやってくれるのはよいことだと思う。自分の地区では、道普請をやっているが、山を走りに来るつくばの人が、手伝いたいと言ってくれている。地区の環境維持を、地区の人以外が手伝ってくれる状況がある。
- ・リアルな活動拠点がなくても、オンラインで情報交換を行えるようになったため、活動が進んだ。
- ・活動資金は人件費も必要。有償ボランティアという考え方も増加している。
- ・コロナのために、ボーイスカウトなど青少年団体は、後任にキャンプの方法などを教えることができなくなり、活動のノウハウの継承ができていない。後輩が育てづらい。

(2) 令和3年度協働のまちづくり推進事業の進捗報告

●石岡未来会議オンライン Vol.2 協働のまちづくりについて考えるについて

(委員から出された意見)

- ・事業の成果指標は何か？つながりの創出だけでいいのか？話し合いの結果がどのように反映されていくのが見えない。一部の人しか参加できないオンラインでは意味がない。

審議経過

(3) これまでの協働のまちづくり推進委員会での審議内容に対する意見(今後の運営の参考)
(委員から出された意見)

- ・年に3回では議論が深まらない気がした。まちづくりの実践的な活動を行うのかと思ったが、そういうわけではなかった。しかし、ほかの委員の話聞いたのは、勉強になった。
- ・まちづくりに関しては分からないことが多く、意見もうまく出せなかったが、職場とは違うメンバーで話ができしたのはよかった。
- ・2期・4年目だが、この委員会がどんな場なのかが今でもよくわからない。具体的にアイデアを出して市長に意見の提言を出していくのかと考えていたが、議論のための議論に終始している印象だった。
- ・3期・6年務めた。2年間でまとめて市長に提案をすると聞いていたが、この会議が何を話す会議なのかが、ずっと分からない。まちづくり団体の表彰の決定など、出てきたものを承認する役割がひとつある。もう一つは、市長に提案するという役割。これができなかった。石岡市は、魅力はあるが、それらがバラバラ。結びつけて活性化する必要がある。まちの核を何にするのか？歴史なのか？そこにお金と人材をかけるべきである。
- ・3期目で「参加促進・相互連携・見える化」にテーマを絞って、ワークショップ形式で会議ができたのはよかった。条例に基づき組織されている委員会であるため、年間で開催できる回数は決まっているうえに、あて職で参加されている委員さんは、任期途中で変わることもあり、継続的な議論が難しいと感じる。この委員会は、構造について話をする場にしていくという方向か？いずれにしても、2年任期で、毎回テーマを決める必要はあると思います。現在、任期が9月末になっているが、今後は、できるだけ任期は年度に合わせるのがよい。そうすれば、団体推薦の委員さんが途中で交代することもなくなる。また委員の中で事務局を担うというやり方をとれないか？
- ・県の審議会も、事務局から情報提供を受けて承認するというやり方で運営されていた。事業の承認や、表彰団体の判断のほか、市に提言をするなどが、この委員会の役割だと思う。推進委員会で計画を出したかった。

石岡市協働のまちづくり推進委員会 委員名簿

	役職名	氏 名
市民から公募した者	公募者	うえたけ ともひろ
		植竹 智央（副委員長）
	公募者	しき ともひろ
		志岐 知洋
	公募者	はせがわ かずえ
		長谷川 和江
	公募者	あらい みか
		新井 美佳
地域コミュニティを 代表する者	区長会 副会長	いちつか ちなみ
		市塚 因（委員長）
	区長会 幹事	たかはし てるお
		高橋 照雄
市民公益活動団体を 代表する者	やさとグリーン ツーリズム協議会	たかだ のぼる
		高田 昇
	ボランティア連絡協議会 副会長	にしまき ちひろ
		西牧 千広
事業者	石岡商工会議所 青年部	たかなか けんいち
		高中 賢一
	八郷商工会 青年部	こまつ ひろき
		小松 裕樹
学識経験者	学識経験者	きむら すすむ
		木村 進
	学識経験者	いばらき やすたか
		茨木 泰貴（副委員長）